

10月1日は福祉用具の日

平成5年10月1日「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」が施行されました。この「福祉用具法」施行日ちなみ、10月1日を「福祉用具の日」としました。

福祉用具の日 2009

福祉用具展示会&セミナー

日時 平成21年10月12日(月)

9:30~18:00 (受付9:00~)

会場 かごしま県民交流センター

鹿児島市山下町14番50号 TEL.099-221-6600(代)



かごしま県民交流センター
鹿児島市山下町14-50
☎099-221-6600(代)

《地下駐車場》
30分につき150円
(入場から2時間まで無料)

《内容》

福祉用具展示会 9:30~18:00 **2階大ホール、展示ロビー**

◎全国より福祉用具メーカー40社集結。◎南九州過去最大級の展示会

メーカー代表10社による最新福祉用具のプレゼンテーション大会

10:00~17:15 **展示会場内特設ステージ**

◎物づくりのプロ達が、入浴・排泄用品、靴、車いす、床ずれ防止用具など適切な福祉用具を選ぶポイントを解説します。

県内福祉用具事業者代表5社による

福祉用具活用事例発表会 10:30~12:30 **2階中ホール**

—私たちが福祉用具のプロ・福祉用具専門相談員です—

「必見!~福祉用具を活用するプランでここまで生活が変化した」

特別講演 14:00~16:00 **2階中ホール** 予約先着順200名様

講師/保田 淳子 先生 ※詳しくは裏面をご覧ください。

「ノーリフティングポリシー ~持ち上げない看護、抱え上げない介護」

福祉用具相談コーナー 9:00~17:00 **1階鹿児島県介護実習普及センター**

◎専門のスタッフが、福祉用具に関するご相談を承ります。

福祉用具展示会&セミナー

《出展者・商品プレゼンテーションコーナー予定表》

時間	セミナー名	メーカー	紹介商品
1	10:00~10:15	象印ペピー(株)	シルバーカー
	10:15~10:30	(株)幸和製作所	歩行車
2	11:00~11:15	(株)タイカ	床ずれ防止用具(静止型マット)
	11:15~11:30	(株)ケーブ	床ずれ防止用具(エアマット)
3	13:00~13:15	株式会社エンジニアリング	離床センサー
	13:15~13:30	株式会社コロン	ケアシューズ
4	14:00~14:15	大王製紙(株)	紙おむつ
	14:15~14:30	アロン化成(株)	ポータブルトイレ
5	16:45~17:00	(株)ミキ	車いす
	17:00~17:15	日進医療器(株)	

2階大ホール展示会場内特設ステージにて

【主催】(社)鹿児島県社会福祉協議会(鹿児島県介護実習普及センター)、(社)日本福祉用具供給協会鹿児島ブロック、鹿児島県福祉用具協会

【後援】NPO鹿児島県介護支援専門員協議会、NPO介護支援専門員協会鹿児島、(社)鹿児島県看護協会、(社)鹿児島県理学療法士会、(社)鹿児島県老人保健施設協会、鹿児島県作業療法士会、NPO鹿児島県ホームヘルパー協議会、鹿児島県ホームヘルパー協会、鹿児島県介護福祉士会、鹿児島県訪問看護ステーション協議会、(社)鹿児島県工業倶楽部、南日本新聞社、鹿児島県バリアフリー研究会、(社)日本福祉用具供給協会九州・沖縄支部、全国福祉用具専門相談員協会 (順不同)

【イベント実行委員会事務局】鹿児島市山下町14番50号 鹿児島県介護実習普及センター内 TEL.099-221-6615 FAX.099-239-0384

鹿児島市谷山港1-2-7 (株)カクイックスウィング内 TEL.099-261-4114 FAX.099-261-4800

特別講演

14:00~16:00 2階中ホール

予約先着順
200名様

ノーリフティングポリシーのカリスマ 保田淳子先生講演会

NO LIFTING POLICY

「持ち上げない看護、抱え上げない介護」

調査では看護介護職員の80%以上の人が腰痛に悩んでいるという現実から、労働環境の改善対策が昨今の大きな話題になっています。腰痛問題は、毎日多くの要介護者達をベッドから車いす等へ継続的に移動移乗動作を行い続けている事が原因なのは明らかです。いつまでも病院や施設内の移動移乗動作を、人間の負担にだけ依存しては肝心の看護介護者を腰痛患者に悪化させてしまう事になります。

福祉先進国の北欧やオーストラリアではどうなのか。

オーストラリアでの看護勤務経験を基にした「ノーリフティングポリシー講演会」は、全国的にも大きな話題となっています。その運動の代表として活躍している「保田淳子先生の特別講演会」を開催することになりました。根本的な腰痛対策はどう有るべきか、「オーストラリアの実情と日本との考え方の比較」と「無理の無い移動移乗対策として、如何に福祉機器等を上手に使うかについての実技」を交えての講演会です。介護保険で在宅でのリフトや移乗機器がレンタル給付対象となっていますが、病院施設での移乗技術や機器普及による改善が進めば、ノーリフティングポリシーの考え方を普及させると共に看護介護職の労働環境の改善や、退院後の在宅でも要介護者の安心安全な環境整備につながります。



保田 淳子先生
やすだ じゅんこ

Junko Yasuda

准看護師免許取得後、働きながら看護学校へ通い、卒業後透析看護師を経験する。
2003年3月オーストラリア（メルボルン）で語学勉強開始。
2004年語学学生の傍ら老人ホームでケアアシスタントとしてアルバイト。
更に2005年2月南オーストラリア州アデレード フリンダース大学看護学部編入 オーストラリア看護師免許取得、傍ら 日本の透析患者のオーストラリア旅行のボランティアサポート開始。
2008年3月までフリンダース大学 看護大学院ヘルスマネジメント専攻。
現在滋賀医科大学医学部博士課程在籍。
日本ノーリフト協会 代表。

福祉用具の日 2009 福祉用具展示会 & セミナー

※下記申込書に記入して、FAXでお申し込みください。
※お申し込みは先着順となります。定員になり次第締め切らせていただきます。

参加申込書

【イベント実行委員会事務局】
鹿児島市谷山港1-2-7 (株)カクイックスウィング内
☎099-261-4114

10月12日(月)		氏名	事業者名/勤務先名	ご連絡先TEL
展示会	参加			
福祉用具 活用事例発表会	参加			
特別講演会	参加			
職種に○印を付けてください		ケアマネジャー ・ 医師 ・ 看護職 ・ 介護職 ・ セラピスト ・ 福祉用具 ・ 行政 ・ 一般		

《個人情報の取扱について》取得いたしました個人情報は、本セミナーに関連したご案内、情報提供を行うために必要な範囲内においてのみ利用させていただきます。

FAX 099-261-4800